

高山 貞美

神学部 神学科 教授 (たかやま さだみ)



研究テーマ

宗教学、諸宗教の神学、親鸞研究

主な授業担当科目

キリスト教人間学、愛とケアの思想史、悪の思想史 など

学歴・職歴・取得学位・受賞歴

1986/03/31 南山大学文学研究科神学専攻 修士 修了 ■ 1992/03/31 グレゴリアン大学 (イタリア) 修士 (霊性神学) 修了 ■ 2000/03/31 グレゴリアン大学 (イタリア) 博士 (神学) 修了
職歴：上智社会福祉専門学校長 (2012～)

主な著書・論文等

「苦しむ神・蘇る神」『福音の喜び』日本キリスト教団出版局、2016年、142-168頁。 ■ 「グライ・ラマ十四世の生涯と思想」『希望に照らされて』日本キリスト教団出版局、2015年、160-180頁。 ■ 「宗教にみる身体・身体観」『知としての身体を考える』学研マーケティング、2014年、54-69頁。 ■ 「良寛にみる共生の思想」『宗教的共生の展開』教友社、2013年、227-248頁。

所属学会

上智人間学会、日本宗教学会、日本カトリック神学会、禅とキリスト教懇談会、日本スピリチュアルケア学会

教育・研究活動

教育活動：主に「キリスト教人間学」の授業を担当
研究活動：宗教間対話の精神に基づき、パウロと親鸞の比較研究などを行っている

海外活動

おもに聖心布教会の国際会議に、修道会の必要に応じて参加している

趣味・学生に伝えたいこと

授業やゼミなどを通して、みなさんと少しでも多く関わることができれば幸いです